

《基礎科目》

科目名	英会話				
担当者氏名	クリスル サウ				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

We will improve English skills using fun & lively exercises & activities & work in small teams. Students should feel confident to ask questions & answers them in English, will learn to express opinions, discuss, events & learn storytelling.

《授業の到達目標》

Students develop confidence & fluency as they try to ask & answer questions, talk about themselves, their habits & customs & plans & asking questions in class.

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート %
 課題 10% 実技 40%
 授業の取組 10%
 その他 () 10%

《教科書》

Classbook: "Take it Easy" by Herman Bartelen

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

I correct spelling, grammar & if writings are original (witty) I reward the test / report / or any other writings with an extra point.

《成績評価基準》

・Tests, check their written homework & papers they write in class.
 ・I let them work in pairs (2-3 people) & 'perform', I will ask them questions in class.

《参考図書》

occasionally extra work or grammarsheets (dependant on the students needs)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Unit 8	[Entertainment, Asking for & giving information] Answer; the question What do you do for entertainment? (pg.57) (1h)
2	Unit 9-1	[Staying Healthy, Describing Routines] Answers the question on paper & What do you do to stay healthy ? (pg.63)
3	Unit 9-2	[Using Numbers, Giving Instructions] Fill out the Questions on pg.67 (1 h)
4	Unit 10-1	[Describing People] Describe one of your family members? (pg.73)(1 h)
5	Unit 10-2	[Describing Personality] Fill out the questions on pg.76 (1 h)
6	Unit 11-1	[Storytelling, Past Progressive Tense Questions] What were you doing on the weekend? (pg.79) (1 h)
7	Unit 11-2	[Reacting to Events] Describe an event when you felt excited (pg.81)(1 h)
8	Unit 11-3	[Telling stories] Prepare a short story (pg.83) (1 h)
9	Unit 12-1	[Asking for and giving Advice] What do you think about your environment (pg.85) (1 h)
10	Unit 12-2	[Expression Opinions] What do you think about iphones in class (pg.87) (1 h)
11	Unit 12-3	[Discussing Issues] Study the word bank on pg.88 (1 h)
12	Practice test	Prepare/review for your test (1h)
13	Writing personal stories	Write a short story about your childhood (1h)
14	Test	Review (1h)
15	Return Tests & Answer Questions	[Return tests & answer questions, learn a song] If you have questions pls write them down (1h)

《基礎科目》

科目名	キャリア演習				
担当者氏名	大谷 美咲、矢野 沙織、岸田 優、久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

「社会人となる心構え」に関するグループワークを中心に行い、テーマごとに社会人としての基礎スキルを学ぶ。

《教科書》

西短進路指導部『就職活動ハンドブック』（2022） 授業内で配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期に課題を課し、教員のコメントを付して返却する。返却された課題は、適宜復習可能なように「学習ポートフォリオ」に保存する。

《授業の到達目標》

自分の強み・弱みを把握し、自分自身への理解を深めることができる。グループワークを通じて、他者と適切なコミュニケーションをとりながら、自己の役割をはたすことができる。様々な演習や講演等を通じて、現代社会の仕組みを理解することができる。自己と社会への理解を深めながら、将来どのように生きていきたいか（キャリアデザイン）について考えることができる。

《成績評価基準》

到達目標 ~ の達成度を課題によって測定する（80%）。また、グループワークへの主体的な参加姿勢を評価に加える（20%）。

《成績評価の方法》

課題 80%
授業の取組 20%

《参考図書》

適宜指示する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：2年前期までを振り返っておく（30分）。 復習：授業内容の復習（30分）。
2	福浜祭打ち合わせ・準備	予習：福浜祭で出店したい内容について考えておく（30分）。 復習：打ち合わせ内容の確認（30分）。
3	福浜祭準備	予習：前回の打ち合わせ内容の確認（30分）。 復習：打ち合わせ内容の確認（30分）。
4	福浜祭準備	予習：前回の打ち合わせ内容の確認（30分）。 復習：打ち合わせ内容の確認（30分）。
5	福浜祭振り返り・2年生グループワーク	予習：福浜祭の振り返り。「社会人としての心構え」について考える（30分）。 復習：打ち合わせ内容の確認（30分）。
6	1年生グループワークの対応（または2年生GW）	予習：1年生のインタビューに答える準備（30分）。 復習：打ち合わせ内容の確認（30分）。
7	2年生グループワーク	予習：前回の打ち合わせ内容の確認（30分）。 復習：打ち合わせ内容の確認（30分）。
8	スポーツごみ拾い	予習：スポーツごみ拾いの準備（30分）。 復習：スポーツごみ拾いの反省（30分）。
9	2年生グループワーク	予習：第7週目授業に関する打ち合わせ内容の確認（30分）。 復習：打ち合わせ内容の確認（30分）。
10	2年生グループワーク	予習：前回の打ち合わせ内容の確認（30分）。 復習：打ち合わせ内容の確認（30分）。
11	2年生グループワーク（報告会）	予習：報告会の準備（30分）。 復習：報告会の振り返り（30分）。
12	早期離職防止セミナー 新社会人の心がけ	予習：新社会人として何が必要か考える（30分）。 復習：セミナー内容の復習（30分）。
13	早期離職防止セミナー レジリエンス	予習：新社会人として何が必要か考える（30分）。 復習：セミナー内容の復習（30分）。
14	内定者報告会・社会人基礎力チェックシート提出	予習：自分の就職活動について振り返っておく（30分）。 復習：報告内容を自分にあてはめて考える（30分）。
15	春期休暇前指導 1年生向けゼミ紹介	予習：春期休暇の過ごし方を計画する（30分）。 復習：キャリア演習 全体を振り返る（30分）。

《基礎科目》

科目名	メディアリテラシー				
担当者氏名	川原口 久爾				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

1. 情報社会に対応するために、メディアリテラシーについて理解を深める。
2. プレゼンテーションソフト (MicrosoftPowerPoint) の機能を把握し、基本的な操作ができるようになる。

《授業の到達目標》

1. ネット社会における必要な知識として具体的な事例を捉え、情報モラルについて理解をしていきます。
2. PowerPointでスライドの作成、スライドの操作、効果的な表現まで一連の操作を習得します。
3. 作成したスライドを用いてプレゼンをします。

《成績評価の方法》

課題60%
発表20%
授業の取組20%

《教科書》

実技で学ぶ情報モラル (日本情報処理検定協会)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

1. 教科書等の問題を課題とする。
2. 課題を印刷もしくはメールにて提出をする。
3. 採点をし返却する。
4. 返却後、フィードバックとやり直しをする。

《成績評価基準》

授業で提出した課題・発表の結果から総合的に評価します。

《参考図書》

よくわかるMicrosoftPowerPoint2019基礎 (FOM出版)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	PowerPointの基本操作	シラバス・教科書の確認 (30分) 授業内容の復習 (30分)
2	SNSトラブル	教科書P2～P5を読んでおく (30分) 授業内容の復習 (30分)
3	スマホでの撮影マナー	教科書P14～P17を読んでおく (30分) 授業内容の復習 (30分)
4	個人情報の流出 (写真の情報)	教科書P18～P21を読んでおく (30分) 授業内容の復習 (30分)
5	違法動画と著作権法	教科書P22～P25を読んでおく (30分) 授業内容の復習 (30分)
6	炎上・拡散	教科書P26～P29を読んでおく (30分) 授業内容の復習 (30分)
7	プレゼン準備	今までの内容の見直し (30分) スライドの作成・発表準備 (30分)
8	プレゼン発表	スライドの作成・発表準備 (30分) 授業内容の復習 (30分)
9	パスワード	教科書P30～P33を読んでおく (30分) 授業内容の復習 (30分)
10	ネットショッピング	教科書P34～P37を読んでおく (30分) 授業内容の復習 (30分)
11	情報の信ぴょう性	教科書P42～P45を読んでおく (30分) 授業内容の復習 (30分)
12	デジタルタトゥー	教科書P46～P48を読んでおく (30分) 授業内容の復習 (30分)
13	プレゼン準備	今までの内容の見直し (30分) スライドの作成・発表準備 (30分)
14	プレゼン発表	スライドの作成・発表準備 (30分) 授業内容の復習 (30分)
15	プレゼン発表・総括	スライドの作成・発表準備 (30分) 授業内容の復習・まとめ (30分)

《基礎科目》

科目名	検定文法 - B				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。			

《授業の概要》

- 1.N1レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。
- 2.N1レベルの文法を使って、文章を書く練習をする。
- 3.N1レベルの聴解練習をする。

《教科書》

『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN1』

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・テキストの各ユニット終了後、小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
- ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《授業の到達目標》

- 1.日本語能力試験N1に合格に向け、文法力の向上を目指す。
- 2.テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
- 3.テキストで学んだN1文法を使用し、文章が書ける。
- 4.N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えを導き出せる。

《成績評価基準》

- ・N1文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。
- ・N1文法を使用し、文章が書けるようになったか。
- ・N1レベルの聴解問題を聞き、正しい答えが導き出せるようになったか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《参考図書》

パワードリル文法N1

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業についての説明 N1文法 導入・練習	予習：前期に学んだ文法の確認をしておく。(60分) 復習：第1回授業内容の復習(30分)
2	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第2回授業内容の予習(30分) 復習：第2回授業内容の復習(30分)
3	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第3回授業内容の予習(30分) 復習：第3回授業内容の復習(30分)
4	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第4回授業内容の予習(30分) 復習：第4回授業内容の復習(30分)
5	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第5回授業内容の予習(30分) 復習：第5回授業内容の復習(30分)
6	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第6回授業内容の予習(30分) 復習：第6回授業内容の復習(30分)
7	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第7回授業内容の予習(30分) 復習：第7回授業内容の復習(30分)
8	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第8回授業内容の予習(30分) 復習：第8回授業内容の復習(30分)
9	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第9回授業内容の予習(30分) 復習：第9回授業内容の復習(30分)
10	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第10回授業内容の予習(30分) 復習：第10回授業内容の復習(30分)
11	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第11回授業内容の予習(30分) 復習：第11回授業内容の復習(30分)
12	N1文法 小テスト 導入・練習	予習：第12回授業内容の予習(30分) 復習：第12回授業内容の復習(30分)
13	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第13回授業内容の予習(30分) 復習：第13回授業内容の復習(30分)
14	N1文法 導入・練習 聴解練習	予習：第14回授業内容の予習(30分) 復習：第14回授業内容の復習(30分)
15	総復習 期末テスト	予習：テスト前の総復習(60分) 復習：テスト後の確認(30分)

《専門科目》

科目名	証券論				
担当者氏名	新垣 のぞみ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

本授業では、外務員 II 種資格の内容を基とする。外務員資格とは、証券会社・銀行等の金融機関やその関連会社に就職後、株式・債券・投資信託等を取り扱う証券業務を行うためには必須の資格であり、資格取得後は、所属する金融機関等を通じて登録をしなければ、証券業務を行うことができない。本授業では金融リテラシー向上のきっかけとすることを目的とし、後期予定の証券外務員対策講座に向けた基礎作りを目標とする。

《授業の到達目標》

ファイナンシャルプランナーとして、金融関連の授業・資格講座・企業研修等や個人の相談業務に携わっている教員が、授業に関連する様々な具体的事例の共有や学習のポイント事例を交えた講義演習を行う。経済・金融・財政の常識、直接金融の代表的な商品である株式・債券・投資信託等の基礎知識を学ぶ。

授業内容は進行の度合い等により変更する場合もある
毎回、配布テキスト全てと電卓を持参すること

《成績評価の方法》

筆記試験 45%
レポート・課題 15%
授業の取組 40%
その他 () %

《教科書》

なし（適宜プリントを配布）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内で全体フィードバックを行う

《成績評価基準》

受講態度・レポートなど課題提出等の取り組み姿勢を中心に、ミニテスト・まとめの筆記試験を評価項目とする。

《参考図書》

うかる!証券外務員二種最速テキスト(最新版は毎年9月発行)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	証券市場の基礎知識	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
2	経済・金融・財政、証券市場の基礎知識	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
3	経済・金融・財政、証券市場の基礎知識	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
4	ミニテスト	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
5	債券の基礎知識と業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
6	債券の基礎知識と業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
7	ミニテスト	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
8	株式の基礎知識と業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
9	株式の基礎知識と業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
10	ミニテスト	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
11	投資信託の基礎知識と業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
12	投資信託の基礎知識と業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
13	ミニテスト	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
14	レポート	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
15	まとめ	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ

《専門科目》

科目名	簿記上級				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。			

《授業の概要》

この授業は、前期開講科目「簿記上級」の続きである。前期に引き続き、中規模の株式会社会計について学ぶ（日商簿記検定2級レベル）。後期では、さらに、株式会社の財務諸表の作成方法について学ぶ。毎回必ず電卓（またはそろばん）を持参すること。

《教科書》

滝澤ななみ著『スッキリわかる日商簿記2級商業簿記』TAC株式会社出版事業部。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

中規模株式会社の簿記技術の習得を目標とする。日本の会計基準や会社法、会社計算規則等に従った会計処理ができるようになる。株式会社の財務諸表を作成できるようになる。企業の経営活動をイメージできるようになる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（28%）。期末の筆記試験では到達目標の習得度を問う（72%）。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 %
 その他（小テスト） 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	引当金	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
2	外貨換算会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
3	税効果会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
4	収益認識の基準	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
5	精算表の作成（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
6	精算表の作成（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
7	財務諸表の作成	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
8	帳簿の締め切り	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
9	本支店会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
10	連結会計（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
11	連結会計（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
12	連結会計（3）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
13	連結会計（4）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
14	製造業会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと（2時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（2時間）。

《専門科目》

科目名	裁判学				
担当者氏名	吉田 俊介				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。			

《授業の概要》

刑事裁判、民事裁判をベースに、裁判等紛争解決手段の基本的な仕組みについて理解し、何等かの紛争発生の際、これに対峙できる程度の知識を習得することを目指す。

《教科書》

教科書は使用せず、毎回レジュメを使用する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験後、講評あるいは解説を、HP 等に掲載します。

《授業の到達目標》

紛争は、民法、刑法、などの実体法に従い解決されるが、紛争解決機関である裁判所では、民事訴訟法や刑事訴訟法に則った訴訟運営がなされるため、これらを理解しておく必要がある。当講義においては、「民事訴訟法」「刑事訴訟法」入門講義に該当する内容を取扱い、各紛争解決手続の基本的仕組みを理解することを目指す。

《成績評価基準》

平常点（授業態度、毎回の授業最後の出席クイズ）、筆記試験により評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験70% レポート0%
 課題0% 実技0%
 授業の取組30%
 その他()0%

《参考図書》

- ・「現代の裁判(6版)」市川・酒巻・山本(有斐閣)
- ・判例つき六法

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	はじめに - 何をどう学ぶか -	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
2	裁判所制度	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
3	法律家の役割	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
4	刑事裁判1	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
5	刑事裁判2	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
6	刑事裁判3	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
7	少年事件	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
8	民事裁判1	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
9	民事裁判2	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
10	民事裁判3	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
11	家事事件	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
12	憲法訴訟	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
13	行政訴訟	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
14	その他の紛争解決手続	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)
15	まとめ	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等(2時間) 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにしたQA等。(2時間)

《専門科目》

科目名	ビジネス実務				
担当者氏名	有田 麻紀				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。				

《授業の概要》

大手企業の秘書室において、個人付秘書の長年の経験や、一般のお客様からVIPまで、多種多様の方々とビジネス交流の経験から、企業における対人関係の実例や実体験、社会人としての常識・教養などを題材とした議論や演習を行う。また、マニュアルだけにとらわれない、臨機応変なコミュニケーション術を、実例やロールプレイングなどをまじえながら考察を行い、心身共に逞しい人間対応力を身につけるような講義を行う。

《授業の到達目標》

- ・社会人としての常識やビジネスマナーの基本、組織人としての社会適応力を身につけると同時に、自発的に行動できる発信力を発揮できるようにする。
- ・人生の目標を設定し、「働く」ということの意義を見出すことができる
- ・家庭の躰を礎とした大人のモラルを学び、コンプライアンスの知識を身につける

《成績評価の方法》

筆記試験	50 %	レポート	%
課題	20 %	実技	%
授業の取組	30 %	その他 ()	%

《教科書》

無し

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト2回の実施により採点し、全ての設問に対する解説を次の週で行う。その際、応用問題も提示し、その場で質疑応答をして、理解度をさらに深めさせる。

《成績評価基準》

講義中における態度による評価と課題提出 50%
 理解度確認小テスト(2回) 50%

《参考図書》

社会人のための基本のビジネスマナー(ナツメ社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	「働く」ことの意味。学生と社会人の違い	予習：テーマについて答えられるようにする事(2h) 復習：年下に説明できる(2h)
2	ディスカッションと発表(夢・目標・不安 etc)	予習：ディスカッション出来るよう考えておく事(2h) 復習：自分で明言する(2h)
3	ビジネスマナー 挨拶・敬語・若者言葉	予習：敬語を説明できる事(2h) 復習：積極的に喋る(2h)
4	ビジネスマナー クッション言葉・電話対応	予習：ビジネス電話の言いまわしを知る事(2h) 復習：練習する(2h)
5	ビジネスマナー 通信ツール(メール・文書)	予習：ビジネス文書を勉強する(2h) 復習：練習する(2h)
6	小テスト(45分)/ビジネスマナー 第一印象	予習：身だしなみのポイントを知る(2h) 復習：他人からの評価を受ける(2h)
7	ビジネスマナー 報連相・名刺の扱い	予習：報連相を知る(2h) 復習：人に説明できる(2h)
8	ビジネスマナー 湯茶接待・仕事の進め方	予習：来客対応法を知る(2h) 復習：ロープレでできる(2h)
9	ビジネスマナー ワークライフバランス・スケジュール管理	予習：ストレスについて知る(2h) 復習：自己解決策を見出す(2h)
10	ビジネスマナー コミュニケーション力の向上法	予習：話術についての本を読む(2h) 復習：自分の方法を見出す(2h)
11	ロールプレイング「こんな時どうする」	予習：柔軟性を学ぶ(2h) 復習：ロープレの質を高める(2h)
12	ビジネスマナー 世代間ギャップについての対策	予習：ギャップの生じる理由を探る(2h) 復習：人に説明できる(2h)
13	ライフマナー 家庭の躰	予習：事前課題を説く(2h) 復習：年下に指導できる(2h)
14	小テスト(45分)/ライフマナー 家庭の躰	予習：事前課題を説く(2h) 復習：年下に指導できる(2h)
15	アフター5のビジネスマナー/まとめ	予習：飲み会等での疑問を出す(2h) 復習：ロープレでできる(2h)

《専門科目》

科目名	経営分析				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。				

《授業の概要》

企業は、毎期貸借対照表や損益計算書などの財務諸表等を作成し公開している。財務諸表の数値を観察すると、企業からのメッセージを読み取ることができる場合がある。この授業では、経営分析の方法について学ぶ。

毎回かならず電卓（またはそろばん）を持参すること。また、普段から新聞などで、企業活動や国内外の社会の動向をチェックしておくこと。

《授業の到達目標》

企業経営の分析方法に関する知識の習得を目的とする。

財務諸表を読み解く分析能力を身につける。

目的に応じた分析方法を身につける。

財務諸表を通じて、企業経営を把握できるようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %

課題 % 実技 %

授業の取組 %

その他（小テスト） 28%

《教科書》

資格教育推進機構編『会社決算書アナリスト試験 公式テキスト』ネットスクール株式会社出版本部。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（28%）。期末の筆記試験では到達目標 ~ の習得度を問う（72%）。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	財務諸表分析の必要性	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
2	財務諸表の読み方	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
3	百分比財務諸表分析（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
4	百分比財務諸表分析（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
5	趨勢分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
6	安全性の分析（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
7	安全性の分析（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
8	資金運用効率の分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
9	収益性の分析（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
10	収益性の分析（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
11	キャッシュ・フロー分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
12	損益分岐点分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
13	生産性の分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
14	成長性の分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと（2時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（2時間）。

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。 1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

後期のゼミナールは、各自研究テーマを決め、卒業研究論文の作成を行う。
ゼミナールの内容をより理解するために、関連科目を受講すること。また、普段から企業活動や国内外の社会の動向をチェックすること。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ゼミナール内でコメントする。

《授業の到達目標》

卒業研究論文の作成。
積極的な討論への参加。

《成績評価基準》

ゼミナール内での討論への貢献度と卒業研究論文の作成で評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 70% 実技 %
授業の取組 15%
その他 () %

《参考図書》

桜井久勝著『財務会計講義』中央経済社。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：研究計画の作成(2時間)。 復習：目次の作成(2時間)。
2	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
3	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
4	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
5	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
6	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
7	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
8	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
9	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
10	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
11	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
12	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
13	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
14	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
15	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

各自、研究テーマを決め、卒業研究の作成を行なう。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ゼミナール内でコメントする

《授業の到達目標》

後期のゼミナールでは以下の3点を目標とする。

- (1)卒業研究の作成
- (2)卒業研究の報告

《成績評価基準》

筆記試験は実施せず、卒業研究の作成と報告、授業への取り組みによって評価する。

《成績評価の方法》

授業の取組 40%
卒業研究 60%

《参考図書》

石黒圭(2012)『この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』日本実業出版社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：研究テーマを探す(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
2	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
3	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
4	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
5	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
6	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
7	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
8	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
9	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
10	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
11	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
12	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
13	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
14	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
15	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、「社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。 1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

学生主体で討論を行い、各自自分の興味関心に応じた研究を行い、その内容をまとめ発表を行う。その後各自、研究テーマに関し卒業研究を行う。

《教科書》

指定しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の報告、発表等に関しその場でコメントをおこなう。

《授業の到達目標》

- ①法学、憲法、行政法を中心に自らの研究テーマを見出し、
- ②研究領域に関する基本的論点を把握し、それらの説明ができる。
- ③自分の決めた研究テーマについて論理的に説明した卒業研究を作成する。

《成績評価基準》

到達目標①～③をゼミでの活動とプレゼン、卒業研究によって総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 80% 実技 %
 授業の取組 20%
 その他 () %

《参考図書》

授業中に適宜指定する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	卒研執筆について	法学を中心に各自、自分の研究テーマを設定するために資料、ニュース等に目を通しておくこと。(2時間)
2	卒研執筆について	法学を中心に各自、自分の研究テーマを設定するために資料、ニュース等に目を通しておくこと。(2時間)
3	プレゼンの実践	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
4	プレゼンの実践	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
5	プレゼンの実践	前回のグループワークをもとに報告書を作り、報告する。(2時間)
6	プレゼンの実践	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
7	プレゼンの実践	前回のグループワークをもとに報告書を作り、報告する。(2時間)
8	卒研指導	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
9	卒研指導	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
10	卒研指導・個人面談	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
11	卒研指導	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
12	卒研指導	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
13	卒研指導	プレゼン資料の作成(2時間)
14	卒業研究発表	プレゼンの実施の準備(2時間)と発表原稿の作成
15	卒業研究発表	プレゼンの実施の準備(2時間)と発表原稿の作成

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力	1-DP1 法律系科目を通じて「法律や契約の内容を理解できる力」を身につけ、公務員や社会人として現実社会において活用することができる。 1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

判例報告のために、各自判例を選び、資料を集め、報告する。報告の際は、他のゼミ生もその事例をよく読み、議論に参加する(必ず質問する)。報告後は、報告者は各自でレポートを提出する。卒業研究は、卒業研究計画にしたがって、最終稿提出に向けて添削指導を受ける。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

判例報告コメントへ「ハ」には、教員がコメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

後期のゼミナールは、判例報告および判例に関するディスカッションを行うことで、主として、テキスト(基本書や判例評釈)を読む力、情報収集する力、プレゼンテーションする力を修得する。また、卒業研究を完成させることで、上記に加えて、まとまった文章を書く力を修得する。

《成績評価基準》

到達目標 ～ に達したかを、判例報告(30%)、判例報告コメントペーパー(10%)、および、卒業研究(60%)で測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 10% レポート 30%
 課題 10% 実技 10%
 授業の取組 30%
 その他(卒業研究) 60%

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	判例報告レクチャー	【予習】配布資料を熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】レクチャー内容を復習する(1時間)
2	判例報告レクチャー	【予習】配布資料を熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】レクチャー内容を復習する(1時間)
3	福浜祭準備	【予習】役割分担にしたがって各自準備(2時間) 【復習】振り返りと次回準備事項の確認(2時間)
4	福浜祭準備	【予習】役割分担にしたがって各自準備(2時間) 【復習】振り返りと次回準備事項の確認(2時間)
5	判例報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントペーパーを作成(2時間)
6	判例報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントペーパーを作成(2時間)
7	判例報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントペーパーを作成(2時間)
8	判例報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントペーパーを作成(2時間)
9	判例報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントペーパーを作成(2時間)
10	卒業研究指導(個別指導)	【予習】卒業研究の執筆をすすめる(2時間) 【復習】不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)
11	卒業研究指導(個別指導)	【予習】卒業研究の執筆をすすめる(2時間) 【復習】不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)
12	卒業研究指導(個別指導)	【予習】卒業研究の執筆をすすめる(2時間) 【復習】不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)
13	卒業研究指導(個別指導)	【予習】卒業研究の執筆をすすめる(2時間) 【復習】不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)
14	卒業研究報告会	【予習】報告資料を作成する(4時間) 【復習】不十分な点を確認し、最終稿を仕上げる(4時間)
15	卒業研究報告会	【予習】報告資料を作成する(4時間) 【復習】不十分な点を確認し、最終稿を仕上げる(4時間)

《専門科目》

科目名	証券外務員				
担当者氏名	新垣 のぞみ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力		1-DP2 経済・経営系科目を通じて「分析・提案できる力」を身につけ、多様なビジネスシーンにおいて活用することができる。 1-DP5 目標進路に到達するために、自らの適正や能力を理解し、必要な力を身につけながら、柔軟に対応することができる。			

《授業の概要》

外務員資格とは、証券会社、銀行等の金融機関やその関連会社に就職後、株式・債券・投資信託等を取り扱う証券業務を行うために必須の資格であり、資格取得後は所属する金融機関等を通じて外務員登録をしなければ、証券業務を行うことができない。本授業では、自分自身の金融リテラシーの向上を目的とし、証券外務員 II 種資格取得に役立てることを目標とする。

《授業の到達目標》

本授業は、証券外務員 II 種資格試験の対策講座として、基礎知識と試験ポイントの解説を中心に行う。

授業内容は進行の度合い等により変更する場合もある
 指定テキストと電卓を持参すること

《成績評価の方法》

筆記試験 45%
 授業の取組 55%
 その他 () %

《教科書》

なし（適宜プリントを配布）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内で全体フィードバックを行う

《成績評価基準》

受講態度などの取り組み姿勢を中心に、ミニテストなどの筆記試験を評価項目とする

《参考図書》

うかる!証券外務員二種最速テキスト(最新版は毎年9月発行)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	証券市場の基礎知識	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
2	経済・金融・財政の常識 証券税制	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
3	株式会社、財務諸表等 セールス業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
4	ミニテスト	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
5	商品業務 株式業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
6	債券業務 投資信託業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
7	付随業務	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
8	ミニテスト	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
9	法令諸規則 金融商品取引法	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
10	協会定款・諸規則	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
11	取引所諸規則等関連法	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
12	ミニテスト	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
13	試験対策	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
14	試験対策	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ
15	試験対策	(予習復習各2時間) 自分や家族、社会などのお金の流れや生活との関わりについて興味を持つ